

eラーニングを導入

学生が主体的に取り組む

青山学院大学



永井准教授

青山学院大学（東京都渋谷区）はキリスト教信仰にもとづく教育の下に、地球規模の視野に基づき正しい認識をもち、自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成している。

2013年4月に教育課程の再配置により経営

学部経営学研究科の全課程を青山キャンパスで受講するようにしたため、カリキュラムを再編成し、4年間一貫したものにする必要があった。

世界で活躍する人材育成のため、外国語教育を充実させている点で注目されている。2013年度から英語の基礎教育に、eラーニング・システム「スーパー英語Academic Express 2」（以下「スーパー英語AE

2」）を導入し、学生が主体的に勉強成果を上げている。「学生が主体的に勉強

2」(株)エル・インターフェイス提供)を導入、成果を上げている。

「学生が主体的に勉強



スーパー英語AE2のログイン画面

「eラーニング教材をいろいろ調べましたが、会話やリスニング中心のものがほとんどでした。私たちが求める英語教育は、まず読解力を重視する学習に便利な教材です。しかも一日単位で課題を設定ができるのが重要でした。また、すでに導入を始めていた理工学部からも、『スーパー英語AE2』の良さ

を聞いていました」と永井准教授は導入の経緯を話す。同学部では1、2年生は外国語科目として「英語集中」と「英語総合」を必修科目としている。ークラス15人ほどで、読解を中心とする「英語集中」と、「スーパー英語AE2」で各学生が自律的に学習する「英語総合」の二本立てだ。

「スーパー英語AE2」の導入によって、学生が主体的に学習に取り掛かる一つのきっかけになった。意欲的に取り組む学生が増えてきた。さらに、永井准教授が強調するのは「スーパー英語AE2」は英文の種類が多いので、学生の教養を深める「引き出し」を補完する役目をするのだ。270以上のリーディングコンテンツが含まれており、1回につき1、2題の読解問題を週に3回、それを2年間継続して行うことができ。また、学習量(努力)に比例して、学習マイルストーンがたまるなど学習動機を喚起するポートフォリオ機能が充実している。ので、それを成績に反映している。

「1年から導入した結果、学習環境がいい方向に向かっていると思います。学生も『内容の豊富さで役に立った。力がついた』と言っています」と(永井准教授)と学生の評判はいい。